

# 1. 都市の基本データ

## 【位置・面積】

つくば市は茨城県の南西部に位置し、**市の面積283.72km<sup>2</sup>**は県内4位の広さであるほか、**可住地面積243.37km<sup>2</sup>**は県内最大であり、市内の幅広い地域で市民が暮らしています。

## 【市内の主な交通網】

- ・ 鉄 道 **首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス**（秋葉原方面）  
みどりの駅、万博記念公園駅、研究学園駅、つくば駅
- ・ 高速道路 **常磐自動車道**（東京方面、水戸方面）  
谷田部 I C、桜土浦 I C  
**首都圏中央連絡自動車道**（久喜白岡方面、成田方面）  
つくば西 S I C（令和7年3月23日開業）、  
つくば中央 I C、つくば牛久 I C
- ・ 国 道 **6号、125号、354号、408号**

## 【土地利用】

宅地が増加傾向である一方、田や畑は減少傾向です。



資料：財務部資産税課「固定資産の価格等の概要調書」

# 1) 地理的条件

## ■ 周辺市街地の位置と交通網図



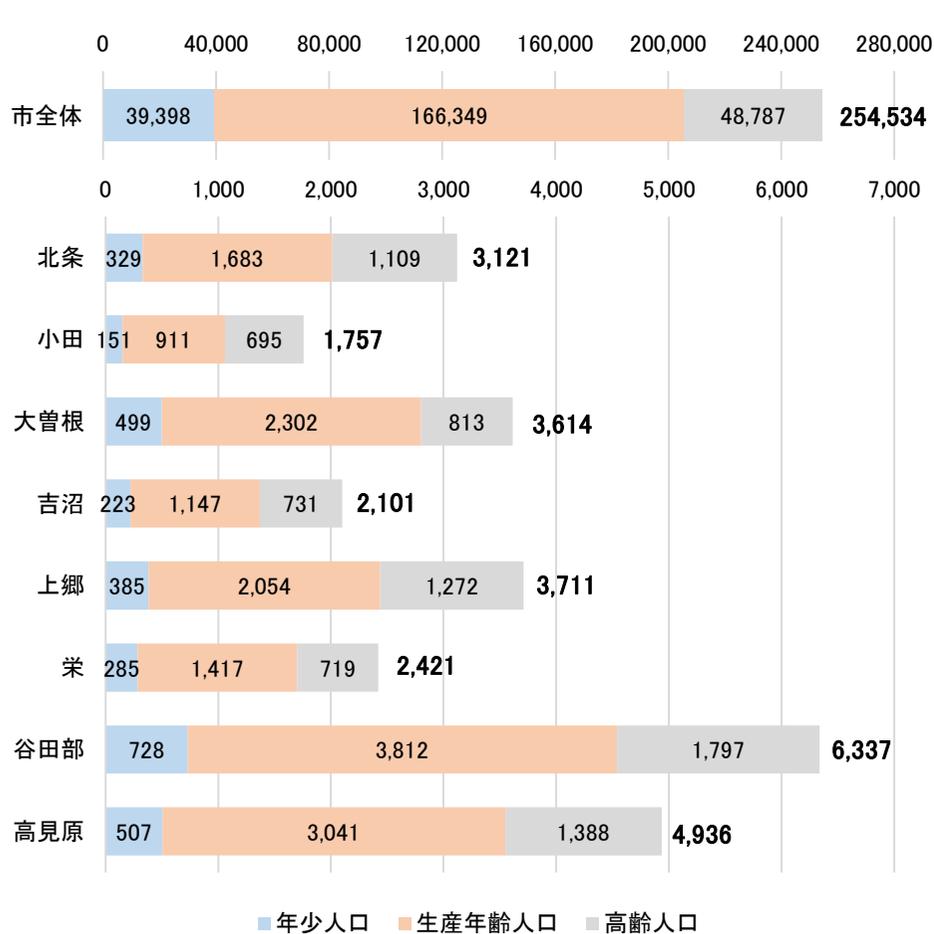
# 1. 都市の基本データ

# 2) 人口・世帯数

## 【人口】

令和5年時点におけるつくば市の人口は**254,354人**です。  
周辺市街地別に人口を見ると、最多は谷田部市街地の6,337人、  
最小は小田市街地の1,757人です。

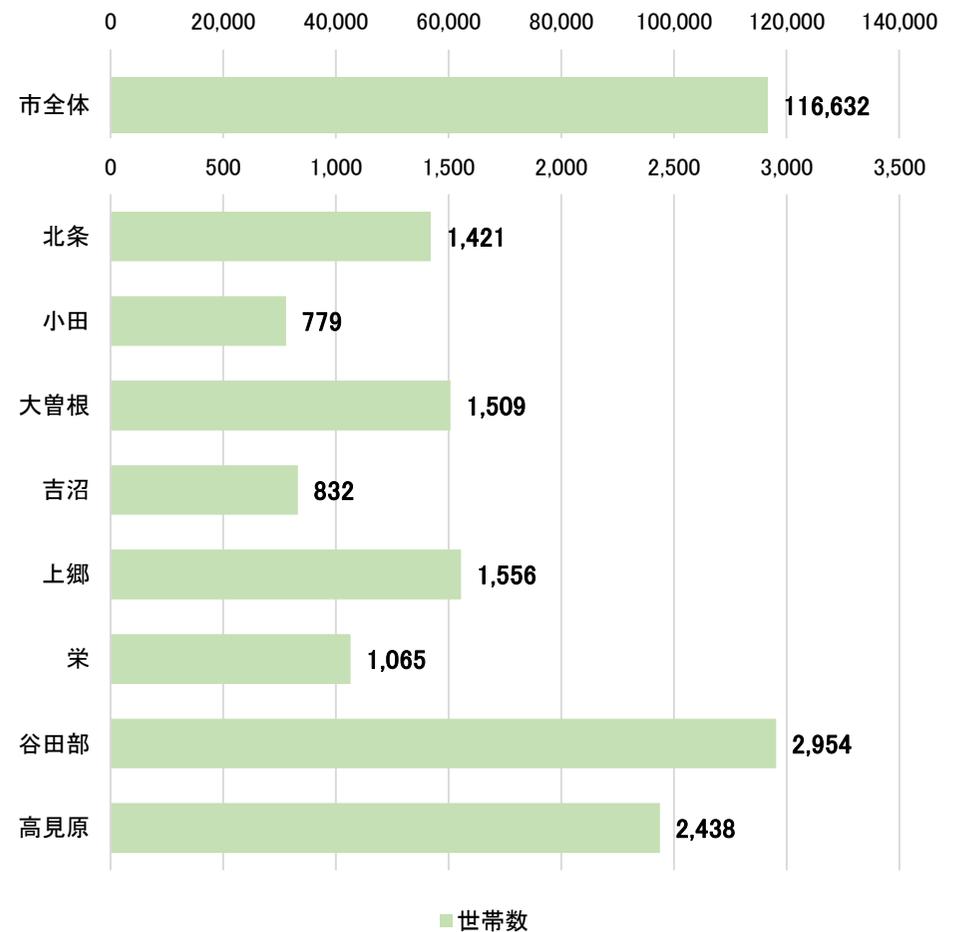
■つくば市全体と各周辺市街地の人口（令和5年10月1日時点）



## 【世帯数】

令和5年時点におけるつくば市の世帯数は**116,632世帯**です。  
周辺市街地別の世帯数も人口と同様に、最多は谷田部市街地の  
2,954世帯、最小は小田市街地の779世帯です。

■つくば市全体と各周辺市街地の世帯数（令和5年10月1日時点）



資料：行政区別年齢別人口統計（市民窓口課オープンデータ）

# 1. 都市の基本データ

# 3) 人口推移と将来推計

## 【市域の人口増減傾向】

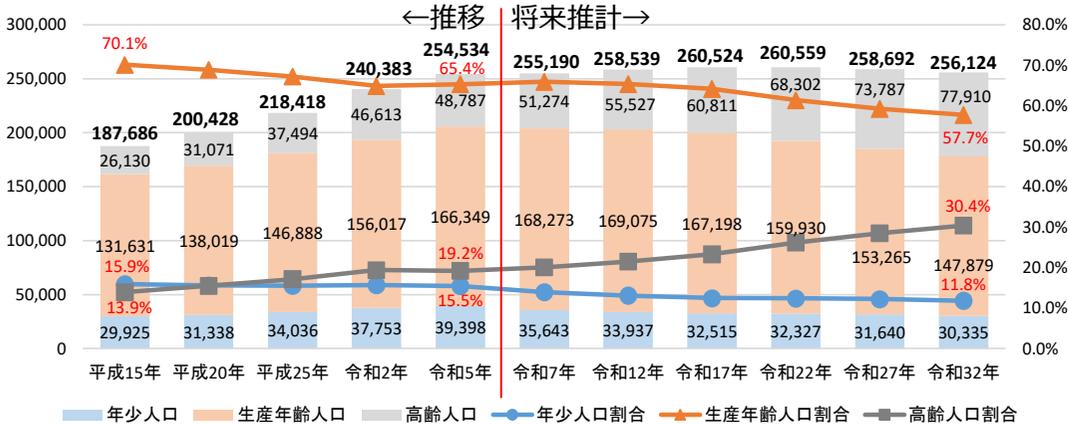
つくばエクスプレスの駅周辺と中根・金田台地区のように、近年大規模な土地区画整理事業を実施した地域や公務員宿舎跡地の再開発が進んだ地域では人口が大幅に増加しています。

一方で、筑波研究学園都市開発初期の住宅地や周辺市街地では人口が減少している地域が見られます。

## 【人口推移と将来推計】

つくば市全域では人口増加が続き、今後は令和22年ごろまで人口増加する一方で高齢化が進行すると予測されています。

■つくば市全域の人口推移と将来推計



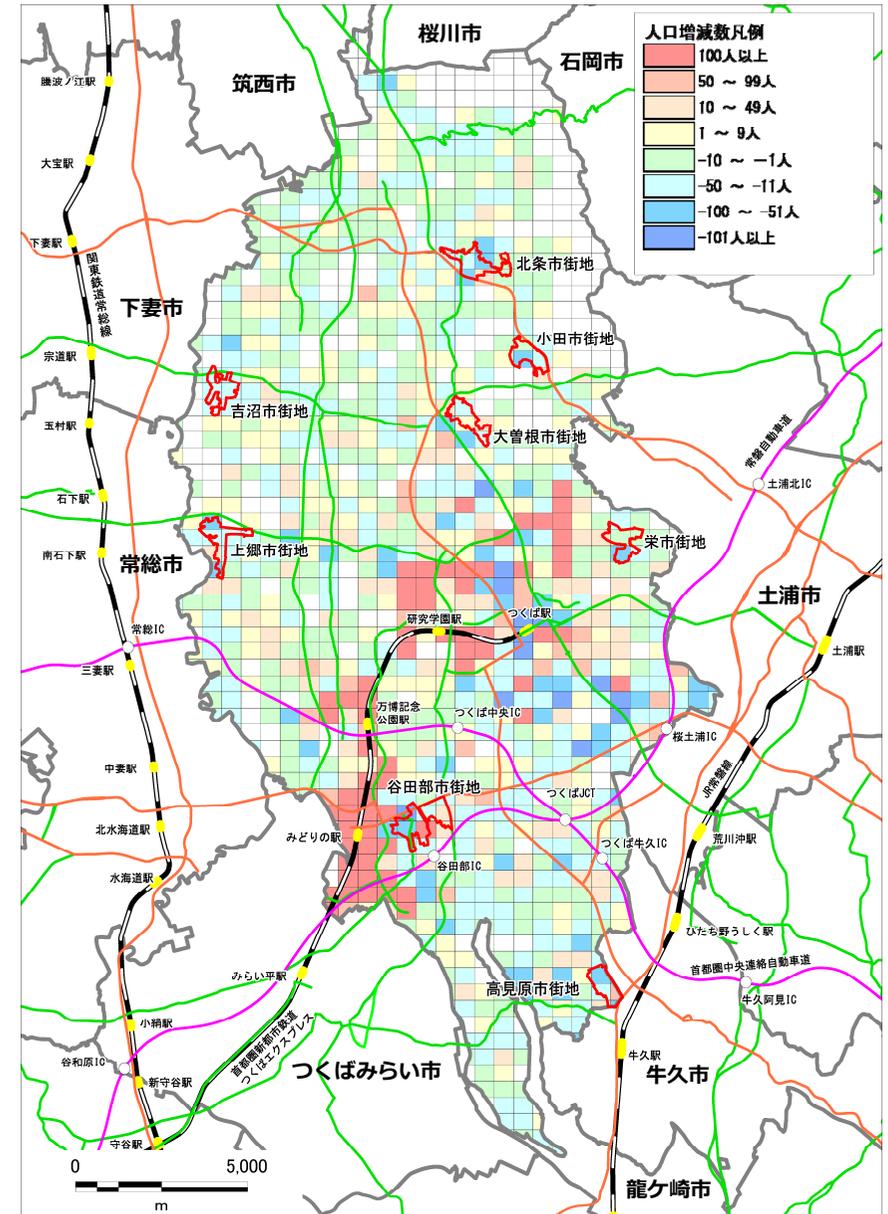
資料：【メッシュ別人口推移】総務省統計局「国勢調査」（平成27年・令和2年）

【人口推移】行政区別年齢別人口統計（市民窓口課オープンデータ）※各10月1日時点

【将来推計】つくば市全域： 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023)年推計）」

市街地別：国土交通省国土政策局「メッシュ別将来人口推計」（平成27年国勢調査に基づく試算）

■メッシュ別人口増減（平成27年から令和2年までの増減数）



# 1. 都市の基本データ

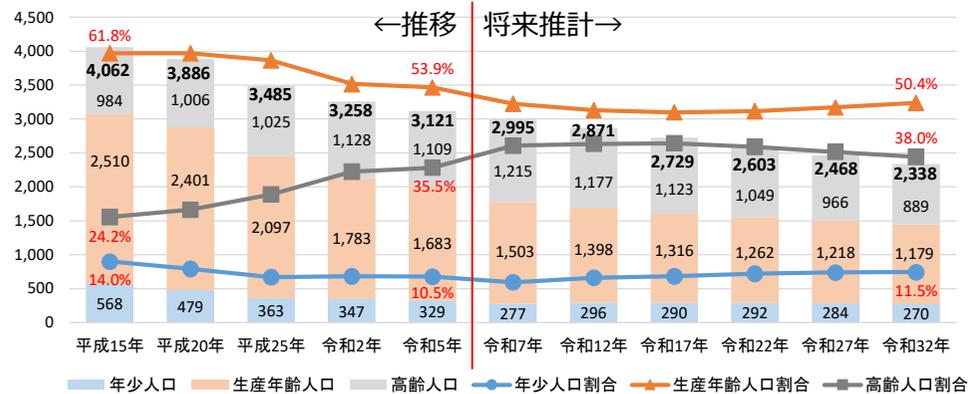
# 3) 人口推移と将来推計

## 【市街地別の人口推移と将来推計】

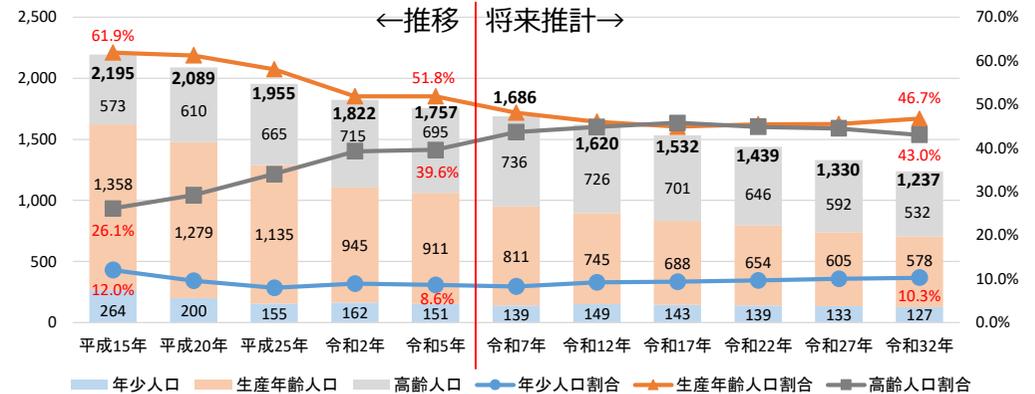
北条、小田、吉沼市街地は少子高齢化が進行しており、今後も人口減少が続くと予測されています。

大曽根市街地は人口増加傾向が続き、今後も人口増加が予測されていますが、高齢化が進行すると予測されています。

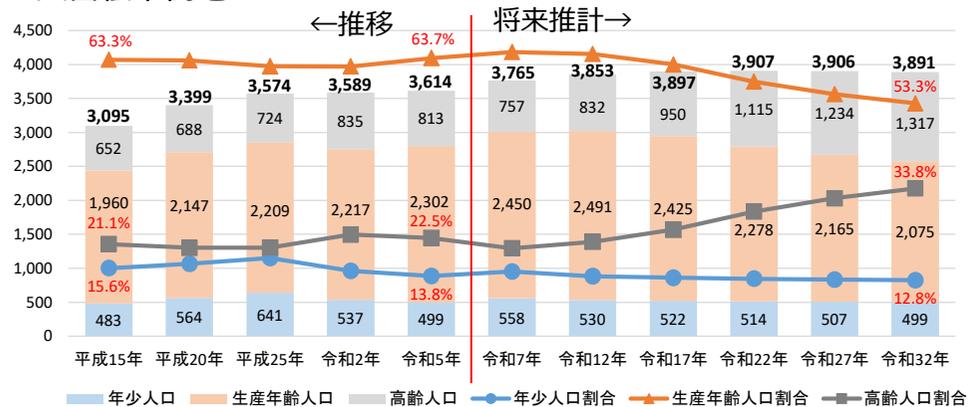
■北条市街地



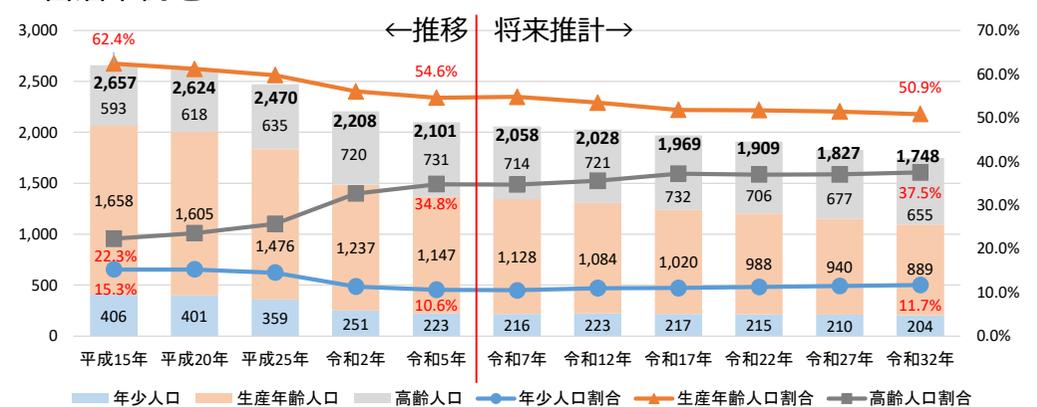
■小田市街地



■大曽根市街地



■吉沼市街地



資料：【人口推移】行政区別年齢別人口統計（市民窓口課オープンデータ）※各10月1日時点

【将来推計】つば市全域：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023)年推計）」

市街地別：国土交通省国土政策局「メッシュ別将来人口推計」（平成27年国勢調査に基づく試算）

# 1. 都市の基本データ

# 3) 人口推移と将来推計

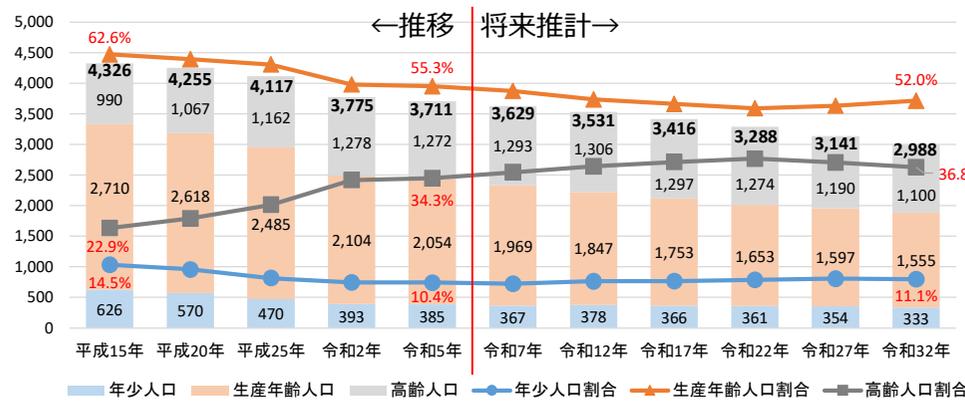
## 【市街地別の人口推移と将来推計（続き）】

上郷、栄市街地は少子高齢化が進行しており、今後も人口減少が続くと予測されています。

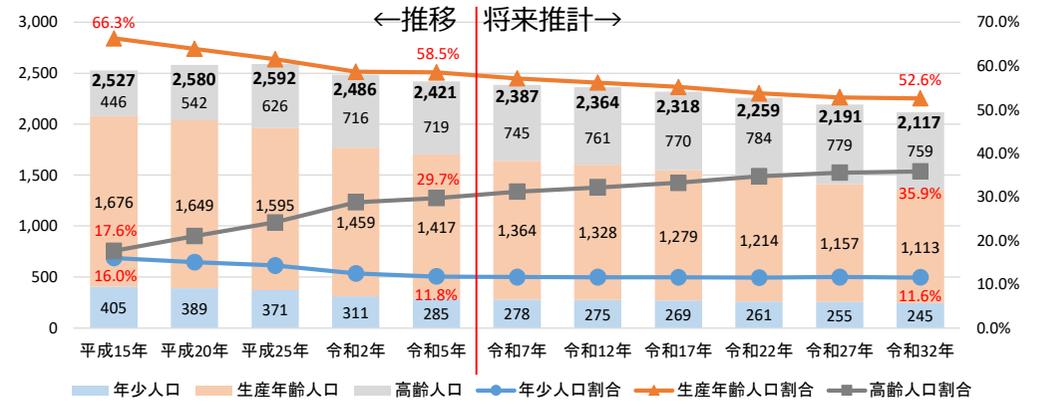
谷田部市街地の人口はほぼ横ばいですが少子高齢化が進行しており、今後は人口が減少していくと予測されています。

高見原市街地は人口が増加傾向ですが少子高齢化が進行しており、今後は人口が減少していくと予測されています。

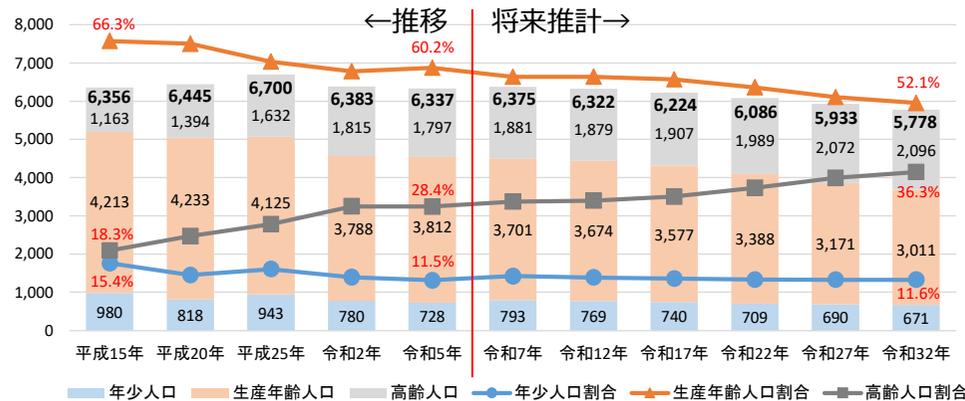
### ■ 上郷市街地



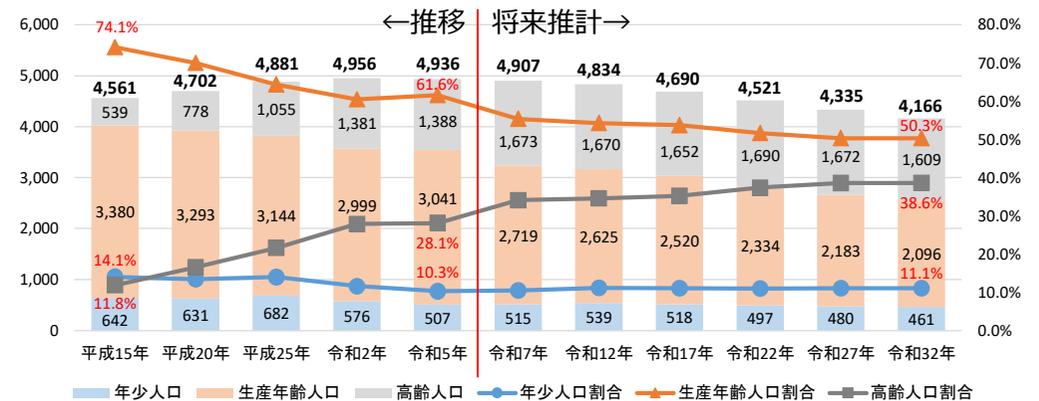
### ■ 栄市街地



### ■ 谷田部市街地



### ■ 高見原市街地



資料：【人口推移】行政区別年齢別人口統計（市民窓口課オープンデータ）※各10月1日時点

【将来推計】つば市全域： 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023)年推計）」

市街地別：国土交通省国土政策局「メッシュ別将来人口推計」（平成27年国勢調査に基づく試算）

# 1. 都市の基本データ

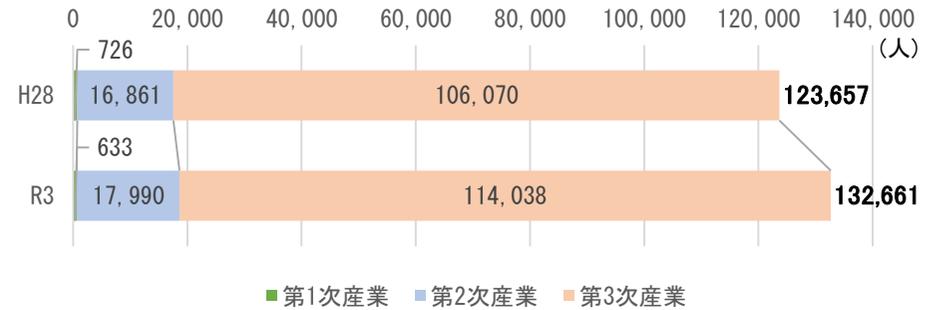
# 4) 産業別労働人口

## 【産業別労働人口】

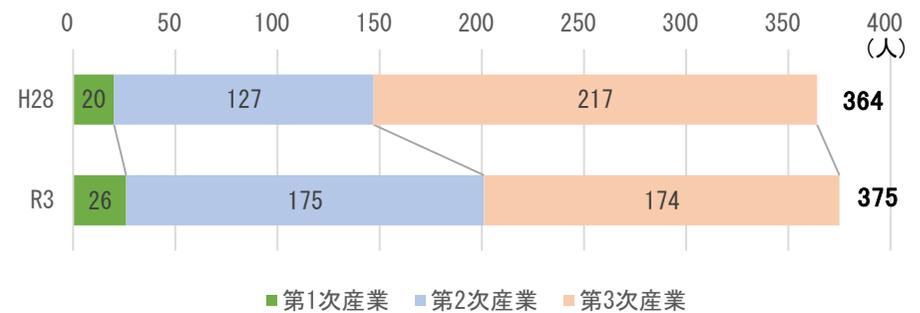
令和3年経済センサスにおいてつくば市内の事業所で勤務する従業員数は**132,661人**で増加傾向となっています。

市街地別では、**小田市街地**で増加、**大曽根市街地**で横ばい、**北条と吉沼市街地**では減少しています。

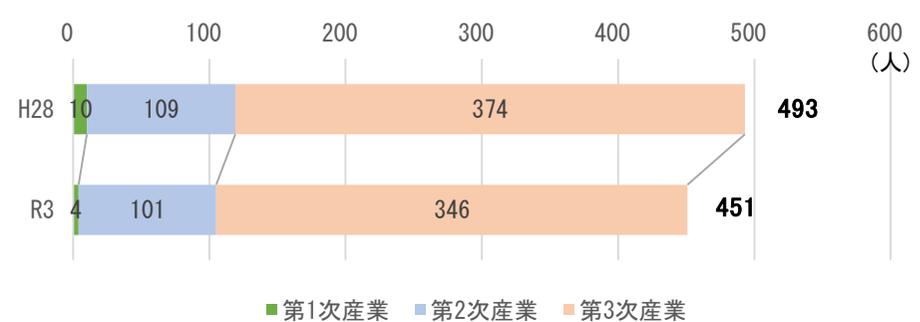
### ■つくば市全域



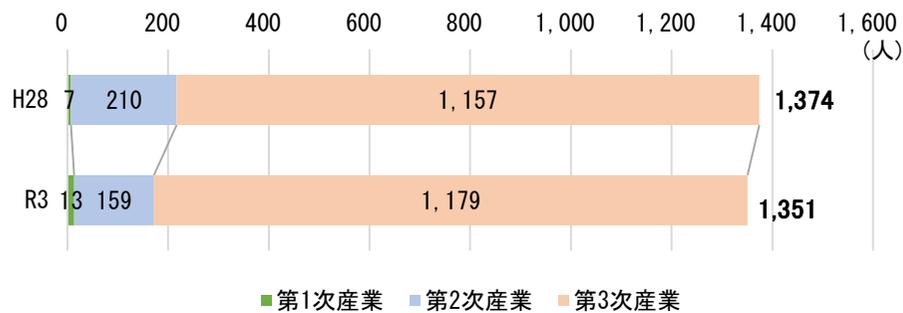
### ■小田市街地



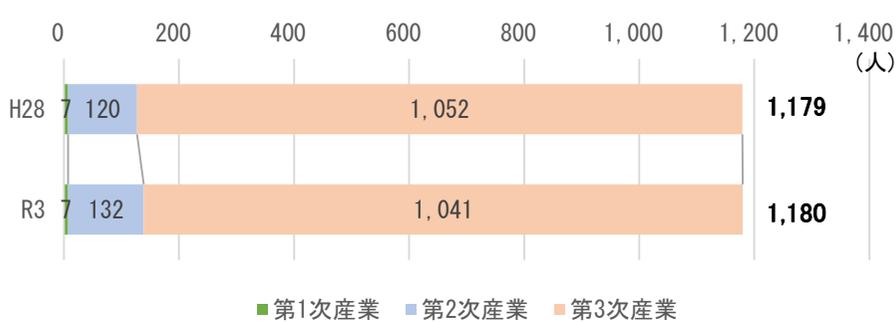
### ■吉沼市街地



### ■北条市街地



### ■大曽根市街地



資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」（令和3年）

※調査対象外の事業所 大分類A「農業、林業」に属する個人経営の事業所 大分類B「漁業」に属する個人経営の事業所  
 大分類N「生活関連サービス業、娯楽業」のうち、小分類792「家事サービス業」に属する事業所  
 大分類R「サービス業（他に分類されないもの）」のうち、中分類96「外国公務」に属する事業所

# 1. 都市の基本データ

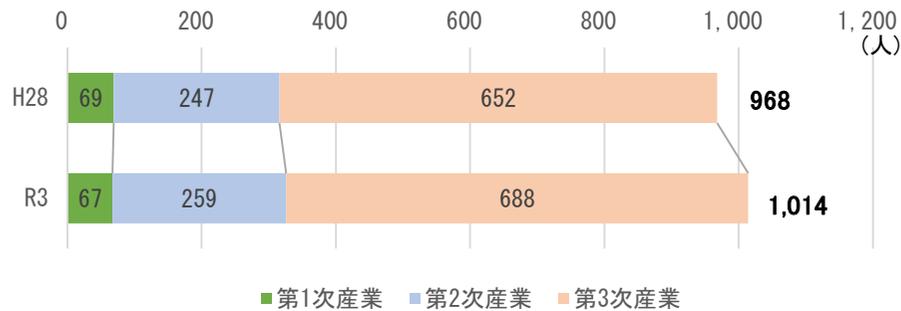
# 4) 産業別労働人口

## 【産業別労働人口（続き）】

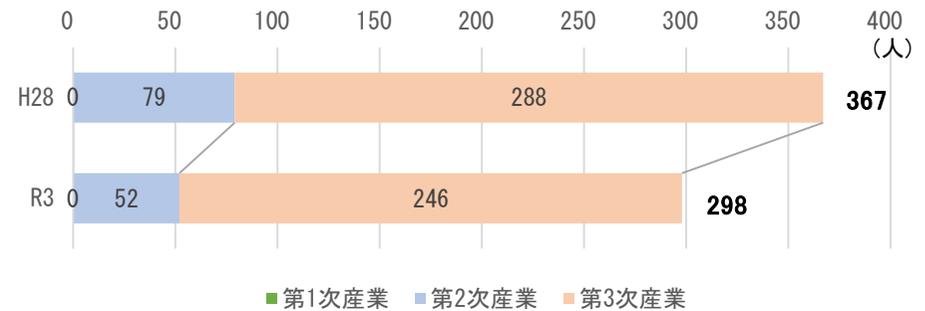
上郷、谷田部市街地で増加、栄、高見原市街地では減少しています。

なお、経済センサスの町丁・大字別集計の都合上、栄市街地は中根・金田台地区の土地区画整理事業換地処分に伴い集計区域が分割されたため減少幅が大きくなり、谷田部市街地は事業中の土地区画整理事業地区を含むため、増加幅が大きくなっていると考えられます。

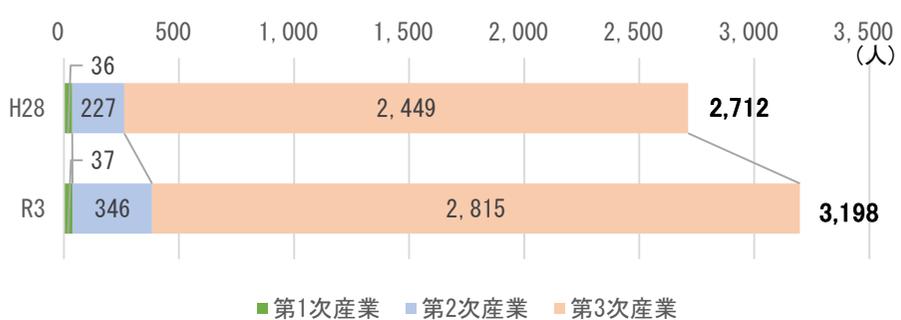
### ■ 上郷市街地



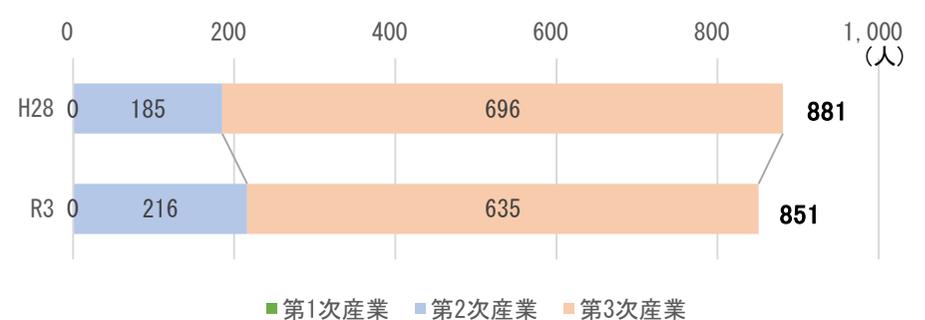
### ■ 栄市街地



### ■ 谷田部市街地



### ■ 高見原市街地



資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」（令和3年）

※調査対象外の事業所 大分類A「農業、林業」に属する個人経営の事業所 大分類B「漁業」に属する個人経営の事業所  
大分類N「生活関連サービス業、娯楽業」のうち、小分類792「家事サービス業」に属する事業所  
大分類R「サービス業（他に分類されないもの）」のうち、中分類96「外国公務」に属する事業所

# 1. 都市の基本データ

# 5) 周辺市との自治体データ比較

## 【農業】

令和2年時点におけるつくば市の総農家数は**3,828戸**で周辺市との比較で最多となっています。内訳を見ると、販売農家数は筑西市に次ぎ、自給的農家数は最多となっています。

経営耕地面積は**5,393ha**で、筑西市に次いで多く、農業産出額は**81億7千万円**で、周辺市比較では中位となっています。

なお、つくば市内を地区別（旧町村別）に比較すると、総農家数、農家人口ともに谷田部地区、筑波地区の順で多くなっています。

また、谷田部地区のみ自給的農家が販売農家を上回る特徴があります。

### ■ 農業の農家数、農家人口、経営耕地面積、農業産出額の比較（令和2年）

	総農家数(単位:戸)			農家人口(人)	経営耕地面積(ha)	農業産出額(万円)
	販売農家	自給的農家				
つくば市	3,828	2,117	1,711	7,717	5,393	817,000
土浦市	1,544	924	620	3,262	1,964	764,000
石岡市	3,141	1,987	1,154	7,119	3,219	1,668,000
龍ヶ崎市	723	470	253	1,502	1,950	297,000
下妻市	1,495	965	530	3,657	2,940	1,234,000
常総市	2,331	1,424	907	5,549	4,368	943,000
牛久市	572	308	264	1,079	671	320,000
筑西市	3,315	2,159	1,156	8,109	8,223	1,741,000
桜川市	1,872	1,109	763	4,104	3,478	728,000
つくばみらい市	1,264	942	322	3,438	2,514	340,000

### ■ つくば市内の農家数、農家人口地区別内訳

	該当する周辺市街地	総農家数(単位:戸)			農家人口(人)
		販売農家	自給的農家		
つくば市	—	3,828	2,117	1,711	7,717
桜地区	栄	505	268	237	961
谷田部地区	谷田部	965	475	490	1,857
豊里地区	上郷	610	350	260	1,325
筑波地区	北条、小田	877	501	376	1,694
大穂地区	大曾根、吉沼	564	332	232	1,167
荃崎地区	高見原	307	191	116	713

用語の定義：

【農家】経営耕地面積が10a以上の農業営む世帯または同面積10a未満ではあるが、年間農産物販売金額が15万円以上あった世帯

【販売農家】経営耕地面積が30a以上または年間農産物販売金額が50万円以上の農家

【自給的農家】経営耕地面積が30aかつ年間農産物販売金額が50万円未満の農家

【農家人口】農家の世帯員数

資料：【総農家数、農家人口、経営耕地面積】農林水産省「農林業センサス」（2020年）

【農業産出額】農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」（令和2年）

# 1. 都市の基本データ

# 5) 周辺市との自治体データ比較

## 【工業】

令和3年時点におけるつくば市の数値について、**従業者4人以上の事業所では事業所数が193件、従業者数10,995人**で、事業所数は筑西市、常総市に続き、従業者数は筑西市、土浦市、常総市に次ぐ数値です。また、従業者1～3人の事業所ではつくば市がそれぞれ54件、117人で最多となっており、つくば市は小規模事業所が比較的多めであることが分かります。

**製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）は3,760億円**で、土浦市、筑西市、常総市に次ぐ金額となっています。

■ 工業の事業者数・従業者数、製造品出荷額の比較（令和3年）

	従業者4人以上の事業所			従業者1～3人の事業所		
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
つくば市	193	10,995	37,601,590	54	117	186,940
土浦市	139	13,900	59,602,928	34	74	127,956
石岡市	127	5,156	26,900,635	18	28	28,033
龍ヶ崎市	103	7,194	27,629,917	14	31	405,760
下妻市	127	5,274	17,590,446	15	30	19,747
常総市	224	12,256	43,664,595	40	90	584,613
牛久市	58	3,576	15,578,620	10	22	19,639
筑西市	268	14,200	48,432,885	52	109	158,466
桜川市	154	4,145	9,946,095	53	109	96,657
つくばみらい市	77	4,642	31,445,973	8	16	18,640

# 1. 都市の基本データ

# 5) 周辺市との自治体データ比較

## 【商業】

令和3年時点におけるつくば市の数値について、卸売業では事業所数が442件、従業者数が3,580人で周辺市との比較でつくば市が最多ですが、年間商品販売額3,065億円は土浦市に次ぐ金額です。

小売業では事業所数が1,352件、従業者数が13,430人、年間商品販売額が2,841億円、売場面積が361,346㎡で周辺市との比較でいずれもつくば市が最多となっています。

■ 商業の事業者数・従業者数、年間商品販売額、売場面積の比較（令和3年）

	卸売業			小売業			
	事業所数	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)	事業所数	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
つくば市	442	3,580	30,656,003	1,352	13,430	28,413,411	361,346
土浦市	378	3,559	32,644,739	879	8,036	18,228,139	188,232
石岡市	103	825	8,420,436	486	3,573	7,271,220	107,265
龍ヶ崎市	91	623	3,024,002	398	4,014	7,844,106	126,643
下妻市	98	613	5,465,879	349	2,722	5,614,453	82,191
常総市	128	966	6,310,124	371	2,552	5,308,773	75,198
牛久市	72	515	2,008,553	426	4,000	8,573,147	104,583
筑西市	203	1,564	9,405,405	704	4,809	9,353,701	109,702
桜川市	82	493	1,308,893	312	1,660	2,854,180	40,680
つくばみらい市	55	382	2,688,468	196	1,675	4,634,739	50,723

# 1. 都市の基本データ

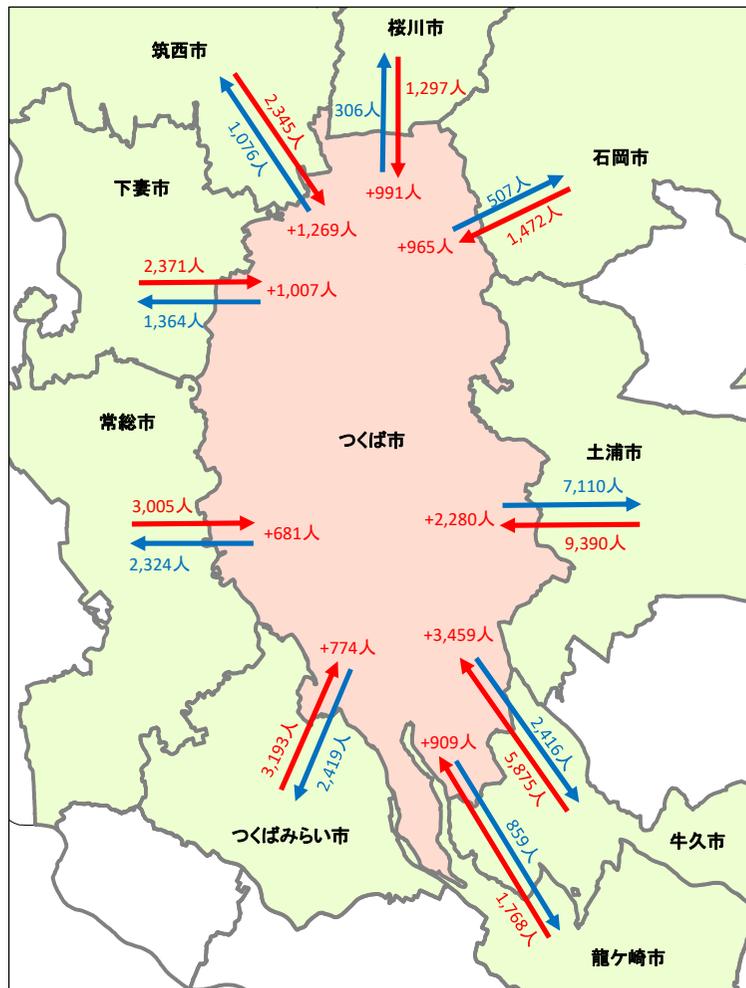
# 5) 周辺市との自治体データ比較

## 【通勤・通学】

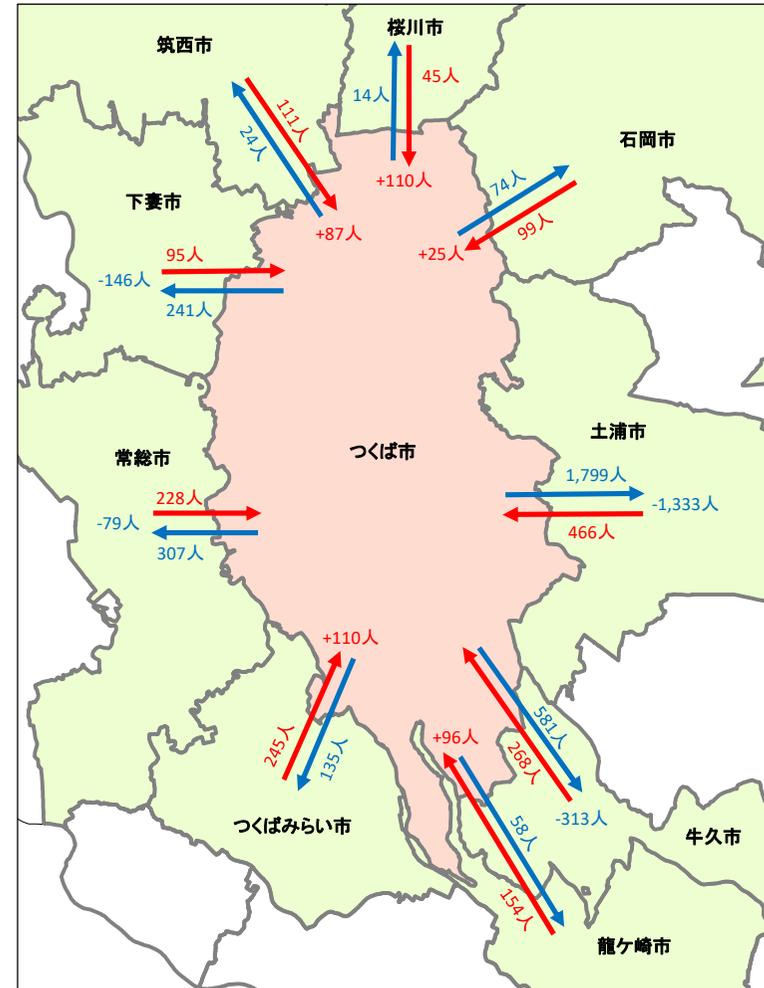
つくば市と隣接する9つの市との関係性を示すものとして日常の通勤・通学動向を確認すると、**就業者は流入超過**で、超過数が多い順から牛久市、土浦市、筑西市となっています。

一方、**通学者は流出超過**で、超過数が多い順から土浦市、牛久市、下妻市、常総市となっています。

■ 周辺市との就業者流動



■ 周辺市との通学者流動 (15歳未満含む)



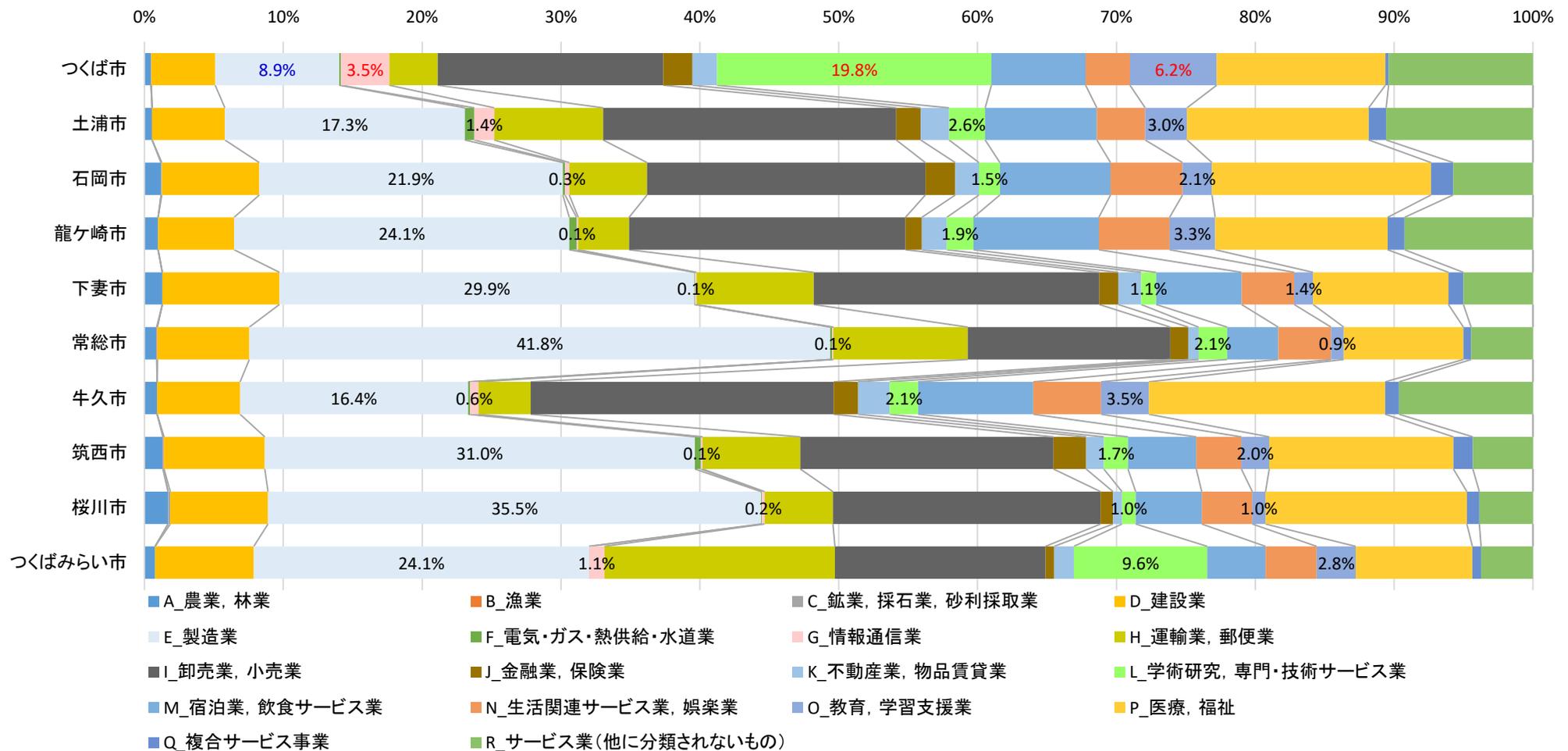
# 1. 都市の基本データ

# 5) 周辺市との自治体データ比較

## 【産業別従業者割合】

市内の産業特色を把握するため、つくば市内事業所の従業者数割合を見ると、「**学術研究、専門・技術サービス業**」の雇用割合が**19.8%**で周辺市より相対比較で非常に高くなっています。次いで「**教育、学習支援業**」「**情報通信業**」も周辺市より相対的に雇用割合が高く、研究学園都市・学術都市としての特色が出ていることが分かります。一方で「**製造業**」の割合は周辺市比較で最少となっています。

■ 産業大分類別 各市内の事業所従業者割合



資料：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(令和3年)